

免疫抑制剤で自分の免疫を抑える事が

間違えだと気づいた方。

自分の病気は自分の免疫でしか治せません。

## 「リウマチ完治に向けて（途中経過）」

匿名希望 38 歳

2016 年 9 月 5 日

私がリウマチを発症したのは、2011年秋頃でした。朝、階段を下りようとすると、足先が痺れたような感覚で、数段を下りるだけなのに、手すりを掴みながら下りました。きっと寝方が悪くて痺れたんだと思い、同じ症状が数十日続いているうちに、気付いたら朝の違和感も治まっていた。あれは何だったんだろう？と思いながらも、その年の冬に、大阪への引っ越しがあり、荷解きや慣れない土地で疲れやストレスを感じ始めたのが、2012年の4月、朝起きると同じ様な症状が手と足に出始めました。手は足よりも酷く、朝食の用意でお皿が持てない程でした。「もしかしたら、リウマチ・・・？」

朝だけ起こるその症状に、リウマチの病名が浮かび、すぐ近くのリウマチ科で血液検査をしてもらいました。すると案の定、リウマチの値が高く、医師にも残念ながらリウマチだと伝えられ、とてもショックだったのを覚えています。

リウマチ・・・私にはとても辛くて聞きたくない病名でした。なぜなら私が幼少時代、仲良くしてくれていた従姉妹が、リウマチで子供の頃から苦しめられ、30代という若さで亡くなっていたからです。当時の私には、従姉妹にどんな治療がなされたのかはわかりませんが、日赤という病院でも治せなかった病気・・・私も遺伝からきたのか、もしかして同じ苦しみを味わい、いつかは歩けなくなり、同じように命を・・・と、最悪の状態まで考え、涙が止まりませんでした。

そんな風に考え込んでしまったのがまた大きなストレスになったのか、夕方に、右肩に激痛が走りました。まるで誰かに噛み付かれているような激しい痛み。痛くて動かすこともできません。泣きながら遠方の実家の母親に電話して助けを求めました。片道2時間近くもかけ、母親が心配して飛んできてくれました。あんな風にすぐ飛んできてくれた母には、本当に心から感謝しています。

子供が小さかった事もあり、子供を見てくれている間に自分は病院へ。そこで痛み止めの注射を肩にしてもらい、ステロイドとロキソニンを処方してもらいました。ステロイドにはとても抵抗がありましたが、この痛みから解放されるのであれば仕方ない、と数日間飲み続けました。でもやっぱり長期で飲みたくなかったので、自己判断で止めてはいけないと言われながらも、痛みが治まったらすぐに止めてしまいました。「痛みが治まって、右肩も上に上がるようになったので、本格的な治療をしましょう。」と、リウマトレックスが少しずつ処方されました。それを飲んでいる間は特にこわばりや痛みもなく、普通の生活が送れるようになり、医師からも「少しずつ薬を減らしていこう。」と言われました。

リウマトレックスを飲み続け、2年が経ちました。「いつまで飲み続けなくてはいけないのか、本当に治っているのか、薬を止めたらまた悪くなるのか」色々考えてしまいますが、止めてまたあの激痛が起こったらと思うと怖くて止められませんでした。リウマトレックスは免疫抑制剤なので、当時は本当によく風邪をひき、熱も出ました。ある日、带状疱疹が左下の腰周りにでき始めました。痒い、痛い！夜中に掻いては痛みで後悔・・・そこでふと「これは免疫抑制しているせいが出たんだ。もしかしたら免疫を抑制なんかしていたら、もっと色んな病気になって酷くなっていくだけではないのか・・・。」そうなんです、気付くのが遅くて、当時の私は本当に無知だったと思います。

そこでやっと、このままじゃいけない、と、行動を起こしました。薬を使わない方法を探そうと思い、インターネットで探したら松本医院がヒットし、高槻なら近いし、すぐ行ける！と思い、すぐさま行動に移しました。当時は先生の息子さんが診察をしてくださり「リウマチはヘルペスからきているんだよ。今带状疱疹が出ているのもそのせいなんだよ。」と丁寧に教えて下さったことを覚えています。そして「あなたはラッキーだったね。带状疱疹のお陰でヘルペスの錠剤が一週間分保険がきくよ。」とも仰ってくださいました。

その日からピタリとリウマトレックスを飲むのを止め、漢方薬に切り替えました。あんなに止めたらどうなるのか・・・と恐れていましたが、待ち時間に他の患者さんの手記を読むうちに、迷いはなくなりました。松本先生の元で、必ず治してやる！闘志が湧きました。

漢方薬も、初めは苦くてビックリしましたが、今では美味しいと思える程になりました。漢方風呂も、家族のみんなには臭いと言われながらも、私にとっては癒しで楽しみになっています。だって漢方風呂に入った後はいつまでも体が温かくて、それだけで治っているような気持ちにさせてくれるからです。鍼やお灸も、していただいた後は体が軽く、ヘルペスから来る首の凝りや、たまに起こる関節の痛みも和らぎ、可能であれば毎日でもして頂きたいほどです。(お灸は自分で頑張っていますけど、これがまた痛みがないとついつい忘れてしまう事も・・・)

松本先生のもとに通い始めたばかりの血液検査では、CRPが0.46でし

たが、ここ最近はずっと0.05以下です。長期に渡るリウマトレックスのせいでリバウンドも大きいのではと心配していましたが、少し痛みが出ては鍼やお灸をしていただいているおかげか、以前のようなこれといった激しい痛みはなく、クラススイッチがそろそろ次の春辺りに花粉症として表れてくれたらいいなーと思っているところです。リウマチと診断されて1年後にシェーグレンも発症してしまったので、抗核抗体の値やF E I A法というシェーグレンの値はまだ高いままではありますが、松本先生がいつも、「シェーグレンなんて何も怖い病気と違う！」と仰って下さるので、気にもしていません。

先生、本当にいつもありがとうございます。今こうして日常生活が送れているのも、松本先生のお陰だと思っています。まだ完治には少しかかると思うので暫くお世話になりますが、病は気から・・・ではありませんが、治ると信じてこそだと思っているので、「自分の病気は自分しか治せない！治るんや！」という先生のお言葉で凄く勇気を頂いています。今後どうぞよろしく願います。